

# ファースト・パトロネージュ・プログラム

第6回  
2022・秋

ご招待状



買ってあなたも  
ファーストパトロンに!

ハジメテを  
応援しよう

工芸の  
次世代スターを  
発掘!

3331  
ART  
FAIR

日時 10.29 (土) 12:00-20:00  
10.30 (日) 12:00-18:30

※ 入場受付は開場30分前より / 最終入場は閉場30分前まで

会場 3331 Arts Chiyoda #206 (2F)  
入場無料エリア・展示即売  
〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14  
東京メトロ「末広町」「湯島」、JR「御徒町」駅至近

本状を受付でご提示ください。無料でご入場いただけます。  
※ 同時開催の「3331ART FAIR 2022」観覧には、料金一般2500円 / シニア(65歳以上)2000円 / 学生1000円が別途かかります

【問合せ先】ファースト・パトロネージュ・プログラム事務局 / 一般財団法人川村文化芸術振興財団  
http://www.kacf.jp / 一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン (CoJ) http://the-creationofjapan.or.jp / FPP事務局 (CoJ内) 〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-12 壺番館ビルディング3F TEL:03-3573-3339 FAX:03-3573-3315 E-mail:fpp@kacf.jp

主催 一般財団法人川村文化芸術振興財団  
協力 一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン (CoJ)  
特別協力 3331 Arts Chiyoda  
認定 公益社団法人 企業メセナ協議会

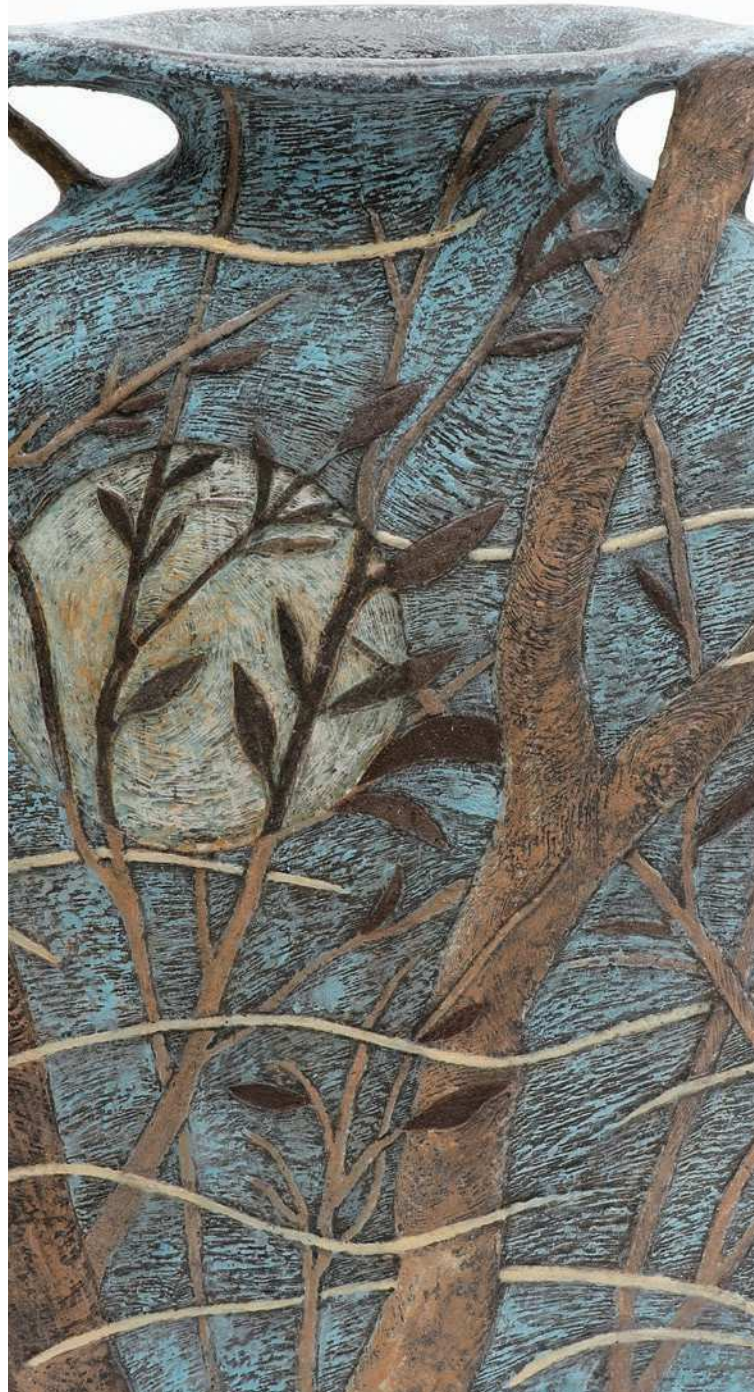


FIRST  
PATRONAGE  
PROGRAM  
2022

## ごあいさつ

若手工芸家の最初の一步を、社会全体で支える活動「ファースト・パトロネージュ・プログラム (FPP)」は、おかげさまで第6回目の開催を迎えます。今年も昨年に引き続き、コミュニケーションとインスピレーションの場、「3331 ART FAIR 2022」が舞台です。文化芸術を、購入することで積極的に支え、明日を拓く創作の源泉につなげていこうとする両者の姿勢が重なり、この度も、「3331 ART FAIR 2022」との併催が実現しました。第6回は、全国で活躍する著名な作家の方々に「埋もれている才能」をご推薦いただきました。その中から、技、個性、のびしろ、現代アートなどの新しい領域の視点を踏まえた上で、審査員によって出展作家16人が選出されました。未知数のポテンシャルを秘めたつくり手の次なる展開、次なる一步のために、ぜひ、会場へとお運びいただければと存じます。また、審査員による講習会とトークセッション「次世代スターを探せ!」(YouTube配信)もお楽しみください。今回も、ご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

一般財団法人 川村文化芸術振興財団



丸山智己 [東京藝術大学工芸科鍛金研究室教授] 推薦

ききキカコ Kiki Kikako

鍛金作家  
鍛金 / アルミ絞り



金属という魅力的な素材に、より親近感を持ってもらえるような、ポップな作品作りを心がけています。

1997年 ニューージーランド生まれ  
2021年 東京藝術大学  
美術学部工芸科 卒業  
現在 東京都在住、東京藝術大学  
大学院 鍛金研究分野2年 在学中



丸山智己 [東京藝術大学工芸科鍛金研究室教授] 推薦

佟昊霖 Tong Haolin

金工作家  
金属造形 / 溶接



骨格は極めて合理的な形を持つ自然工芸品だと考えています。動物の骨格をモチーフとし、金属の質感と色を加えて、手作業にこだわった制作をしています。

1996年 中国・遼寧省生まれ  
2021年 多摩美術大学  
彫刻学科 卒業  
2022年 東京藝術大学大学院  
工芸専攻修士2年 在学中  
現在 神奈川県在住、制作



畠山耕治 [金属作家] 推薦

岸 洸実 Kishi Hiromi

金属作家  
旋盤 / 彫金



金属の持つさまざまな特徴をどのように作品に落とし込めば美しく見えるか、または意外性のある表現になるのか日々模索しています。

1994年 茨城県生まれ  
2019年 金沢美術工芸大学  
工芸科彫金・鍛金専攻  
卒業  
2022年 金沢美術工芸大学大学院  
美術工芸研究科 修士  
課程彫金・鍛金専攻 修了  
現在 石川県在住、制作



中川周士 [中川木工芸比良工房主宰] 推薦

伊藤 匠 株式会社 桶数

Ito Takumi / Okekazu  
たがもの  
籠物作家  
桶 / 木曾五木



木の産地である木曾で、日本の伝統工芸の一つである桶作りの技法を守りつつ、受け継いだ技法を駆使して、王道なものから特異なものまで挑戦しています。

1992年 長野県木曾郡生まれ  
2011年 上松技術専門学校 入所  
2012年 中川木工芸比良工房 入所  
2015年 株式会社桶数 入所  
現在 長野県木曾郡在住、制作



## 関連イベント

工芸の次世代スターを探せ!  
出展審査員と見る FPP Vol.6

## 審査員トークセッション

川村文化芸術振興財団

YouTubeチャンネルにて配信

配信日: 2022年10月29日(土) 12:00 ~

## ファシリテーター

秋元雄史 [練馬区美術館長・川村文化芸術振興財団評議員]

## パネリスト

黒田耕治 [しぶや黒田陶苑]

小山登美夫 [TOMIO KOYAMA GALLERY]

遠山正道 [株式会社スマイルズ 代表取締役社長]

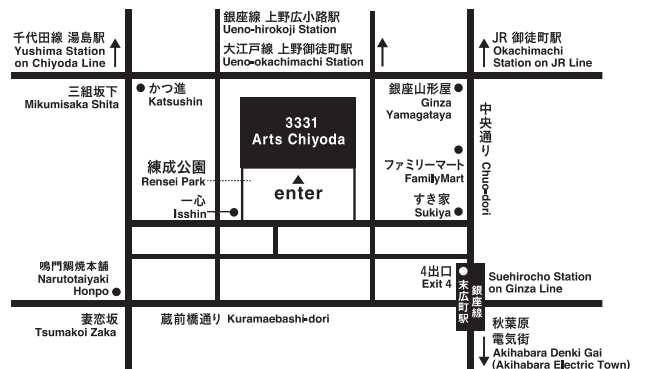
福田朋秋 [高島屋 MD本部美術部]

川村文化芸術振興財団 YouTubeチャンネル ▶



第5回 FPP 講習会風景

第5回 FPP 審査員トーク



アクセスおよび「3331ART FAIR 2022」詳細は <https://artfair.3331.jp/> をご覧ください